

# 朝日インテック株式会社

## 会社概要

2026年7月

(証券コード：7747 東証プライム、名証プレミア)

# 会社概要

| 社名      | 朝日インテック株式会社                                                             |
|---------|-------------------------------------------------------------------------|
| 本社      | 愛知県瀬戸市暁町3番地100                                                          |
| 代表者     | 代表取締役会長 宮田 昌彦<br>代表取締役社長CEO 宮田 憲次                                       |
| 設立      | 1976年7月8日（現在 第51期目）                                                     |
| 事業内容    | 医療機器 及び 極細ステンレスワイヤーロープ並びに端末加工品等の開発・製造・販売                                |
| 連結売上高   | 1,454億1千9百万円（2026年6月期）                                                  |
| 連結営業利益  | 452億1千8百万円（2026年6月期）                                                    |
| 資本金     | 188億6千万円（2026年6月期）                                                      |
| 従業員数    | 1,285名（単体） 10,177名（連結）（2026年6月末現在）                                      |
| 関係会社    | 連結子会社：20社 非連結子会社：5社                                                     |
| 開発拠点    | 日本・タイ・米国                                                                |
| 製造拠点    | タイ・ベトナム・フィリピン・中国 ※                                                      |
| 販売拠点    | 日本・米国・オランダ・フランス・ドイツ・イタリア・ロシア・中国・韓国・台湾・香港・シンガポール・タイ・インド・UAE・ブラジル・サウジアラビア |
| 上場証券取引所 | 東証プライム市場、名証プレミア市場（証券コード7747）                                            |

※ 中国工場について、2030年12月頃から稼働開始予定です。

# グローバルネットワーク – 開発/生産（日本と海外の棲み分け）



グローバル本社 R&Dセンター  
（製品開発）



【日本】研究開発/試作



ベトナム: ASAHI INTECC HANOI CO., LTD.



タイ: ASAHI INTECC THAILAND CO., LTD.



中国:朝日英达医疗器械（南宁）有限公司

※2030年12月頃に稼働開始予定



フィリピン:  
TOYOFLEX CEBU CORPORATION

生産 3 拠点  
1 拠点準備中

【海外】生産拠点

日本は研究開発・試作に特化し、生産（量産）は全て海外工場にて実施

# 販売拠点

## 国内10拠点



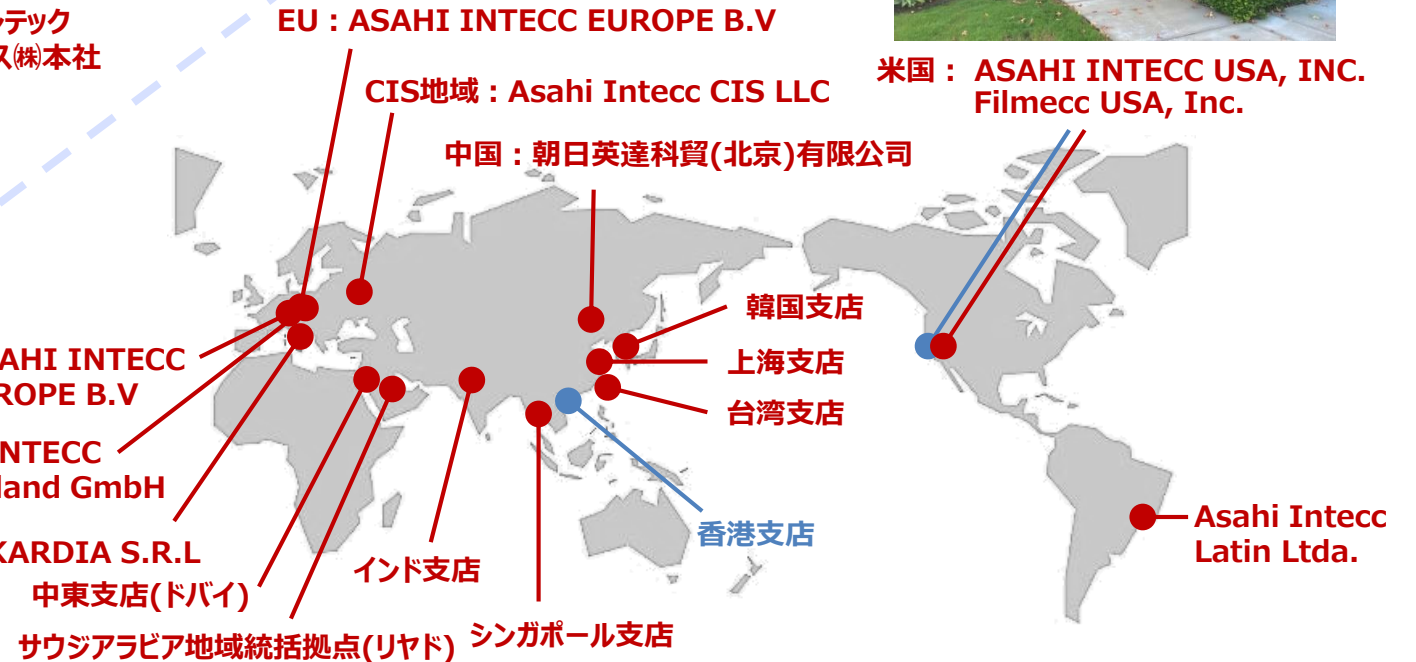
グローバル本社・R&Dセンター



<Medical Domestic Sales Coverage>  
朝日インテック  
Jセールス(株)本社

## 海外17拠点

● メディカル ● デバイス



# 研究開発拠点



# 事業分野・事業セグメント

■ 2026年6月期

売上高 145,419百万円

営業利益 45,218百万円

**メディカル事業**  
(自社ブランド製品・OEM供給品)



**医療機器分野**  
(約95%)



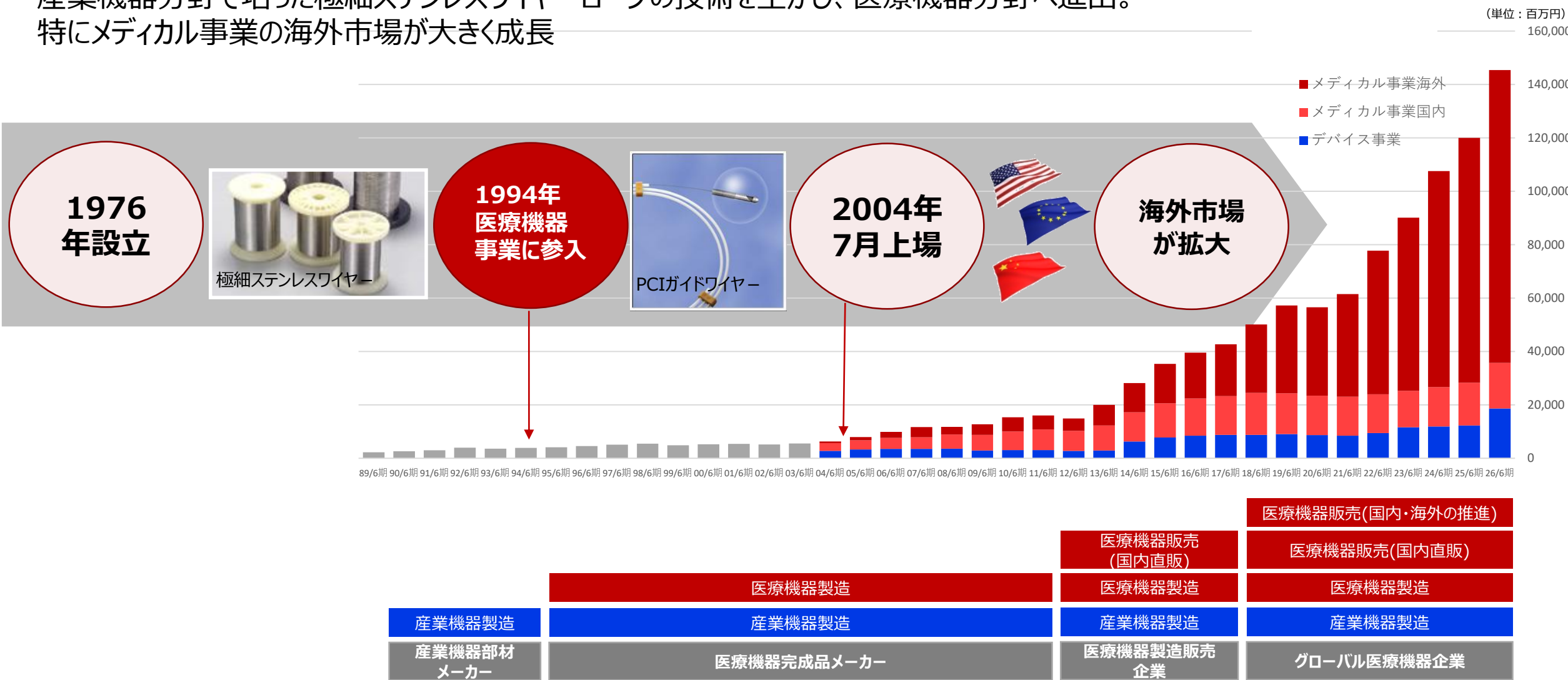
**産業機器分野**  
(約 5%)



**デバイス事業**  
(医療部材・産業部材)

# 産業機器分野から医療機器分野への進出

産業機器分野で培った極細ステンレスワイヤーロープの技術を生かし、医療機器分野へ進出。  
特にメディカル事業の海外市場が大きく成長



# 事業内容と主要製品群

産業機器用のワイヤーロープ製造を起点とし、医療機器分野(アクセスデバイス)への事業を拡大

デバイス事業 13%

メディカル事業 87%

産業機器分野 5%

医療機器分野 95%

## 産業部材



素線



シンクロメッシュロープ

<< 使用される市場 >>



スポーツ



家電

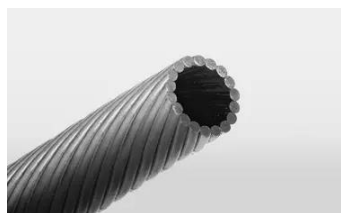


OA機器

## 医療部材



ワイヤーロープ・チューブ  
(内視鏡処置具の部材)



ACT ONE

## 自社ブランド製品・OEM供給品

### 治療用 アクセスデバイス



PCIガイドワイヤー  
売上の約50%を占める  
主力製品



PCIバルーンカテーテル



PCIガイディングカテーテル



貫通用カテーテル

### OEM供給品



創業時

1994年 医療機器事業に参入

# メディカル事業の主要製品群

## 治療用カテーテルシステム

### 循環器系

- PCIガイドワイヤー
- PCIガイディングカテーテル
- PCIバルーンカテーテル
- 貫通カテーテル

### 末梢血管系・腹部血管系・脳血管系

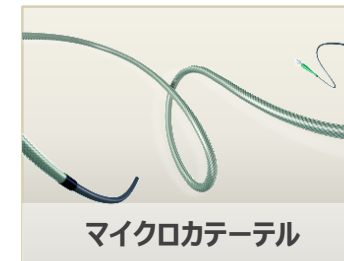
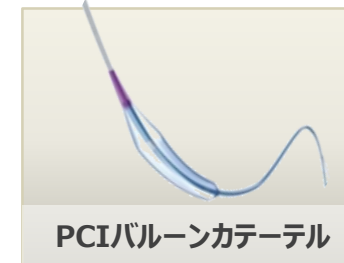
- ペリフェラルガイドワイヤー
- IVRガイドワイヤー
- 脳血管系ガイドワイヤー

## 検査用カテーテルシステム

- 血管造影用ガイドワイヤー
- 血管造影用カテーテル

## OEM供給品

- 主に循環器系以外のカテーテル関連製品



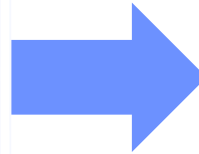
弊社の売上高の**48.4%**（2026年6月期）を占める主力製品

# PCI治療（経皮的冠動脈形成術）とは -1

- 冠動脈疾患（狭心症・心筋梗塞等）の治療法
- 狭窄部を広げて血流を確保
- 患者の精神的・肉体的負担を最小限に抑える為に、開腹・開胸する事なく、太腿や手首の血管を通じて治療を行う

## 外科的治療

### バイパス手術



## 内科的治療

### 低侵襲治療（PCI治療）

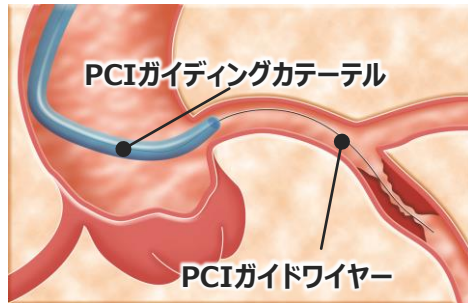


# PCI治療（経皮的冠動脈形成術）とは -2

PCI治療を成功させるためには、PCIガイドワイヤーが患部に到達しなければならない

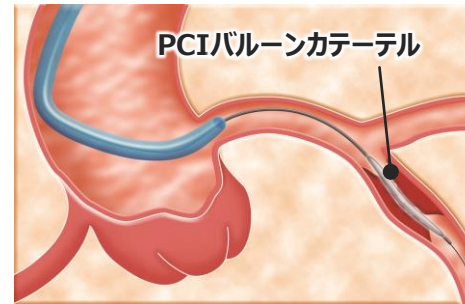
## ① PCIガイドワイヤー通過

PCIガイディングカテーテルと呼ばれる細い管を血管に挿入し、その中にPCIガイドワイヤーを通します。



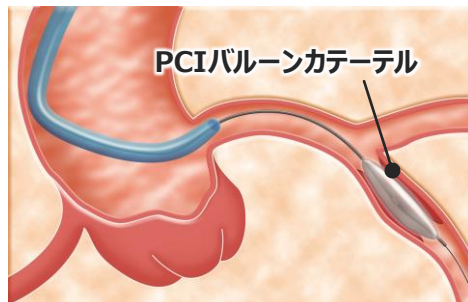
## ② PCIバルーンカテーテル挿入

PCIガイドワイヤーに沿って、PCIバルーンカテーテルを血管の狭くなっている部分まで進めます。



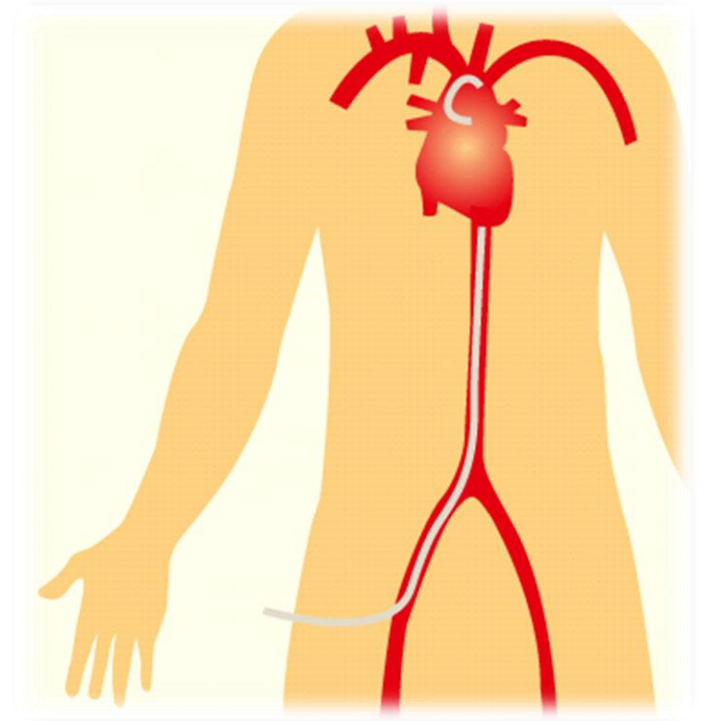
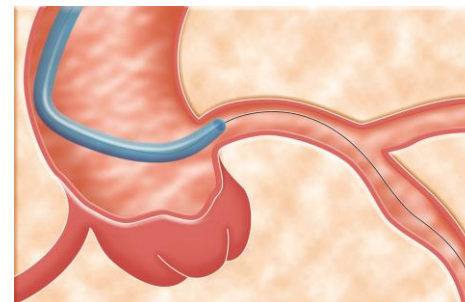
## ③ PCIバルーンカテーテル拡張

バルーン（風船）をふくらませ、内側から血管を押し広げます。



## ④ PCIバルーンカテーテル抜去

狭くなっていた部分が広げられ、血液の流れがよくなります。

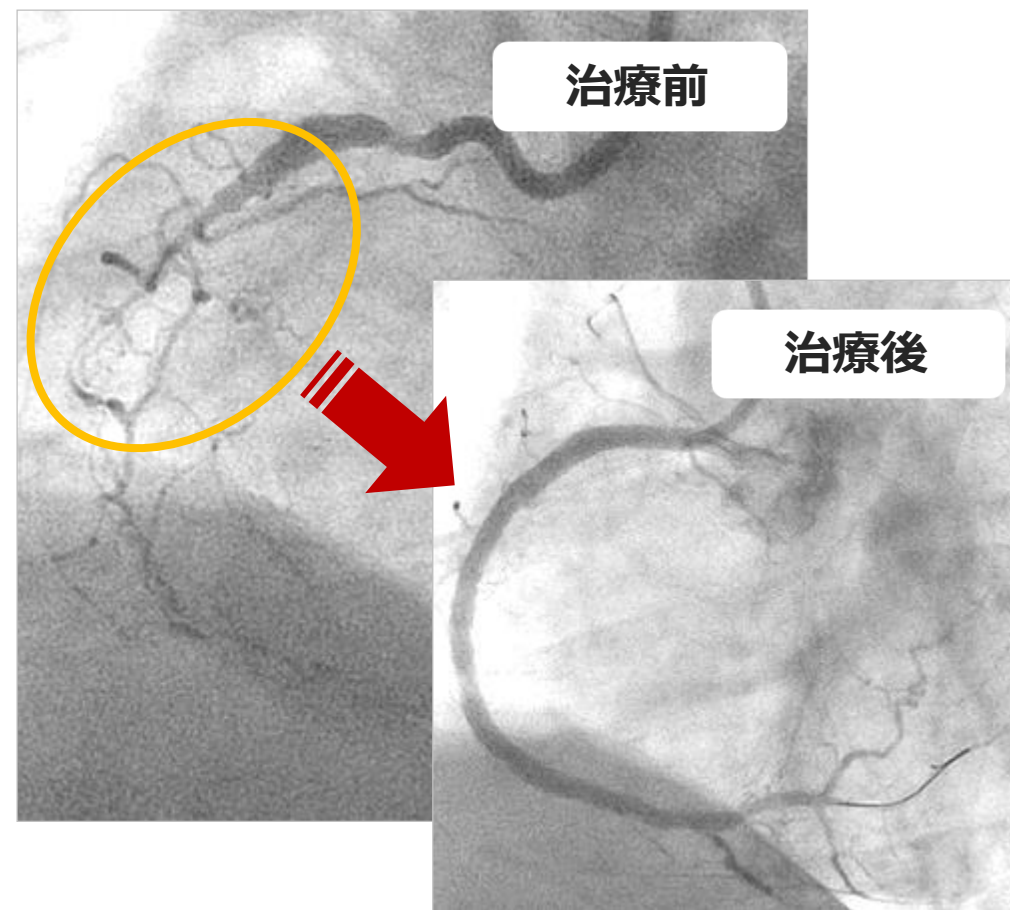


# PCI治療（経皮的冠動脈形成術）とは -3

比較的簡単な病変

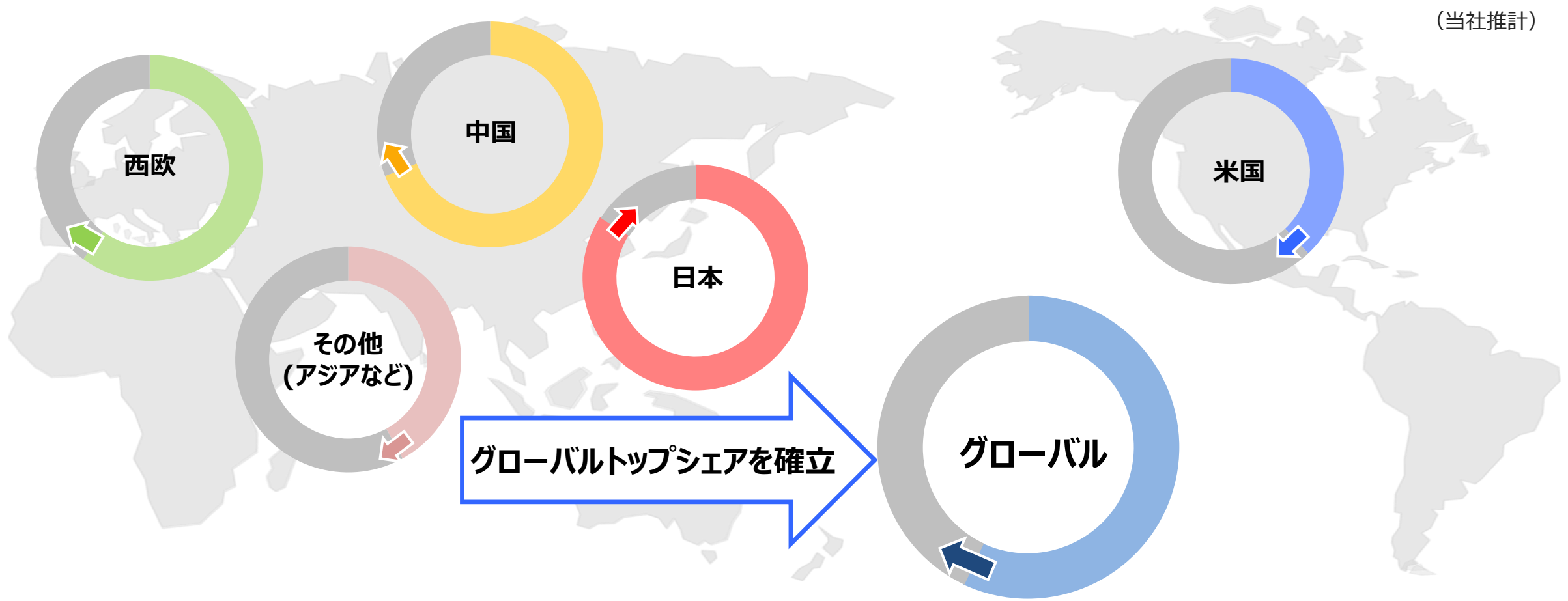


難易度の高い病変



# 主力製品PCIガイドワイヤーの市場シェア【2026年6月期】

(当社推計)



全地域において、引き続き市場シェア拡大に努めて参ります

# 技術の優位性 4つのコアテクノロジー

優れた回転追従性（トルク性）



先端の柔軟性（安全な操作）



ドクターの「指先の微妙な動き」を「先端に忠実に伝える」ことが可能

競争力の源泉：4つのコアテクノロジー

強度・線径コントロール



回転追従性



伸線技術

ワイヤー  
フォーミング  
技術

ミクロンレベルの成形



素材から製品までの  
一貫生産体制

トルク技術

樹脂  
コーティング  
技術

極薄膜コーティング

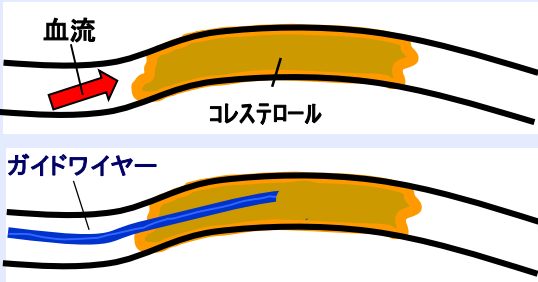


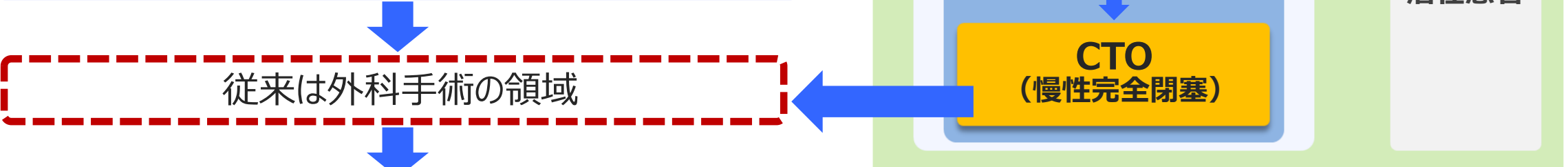
# 当社のフラッグシップ CTO治療

## CTO領域におけるPCI治療の実現

■ CTO（慢性完全閉塞）とは？

- 石灰化した硬い病変
- 完全に血管が詰まった状態





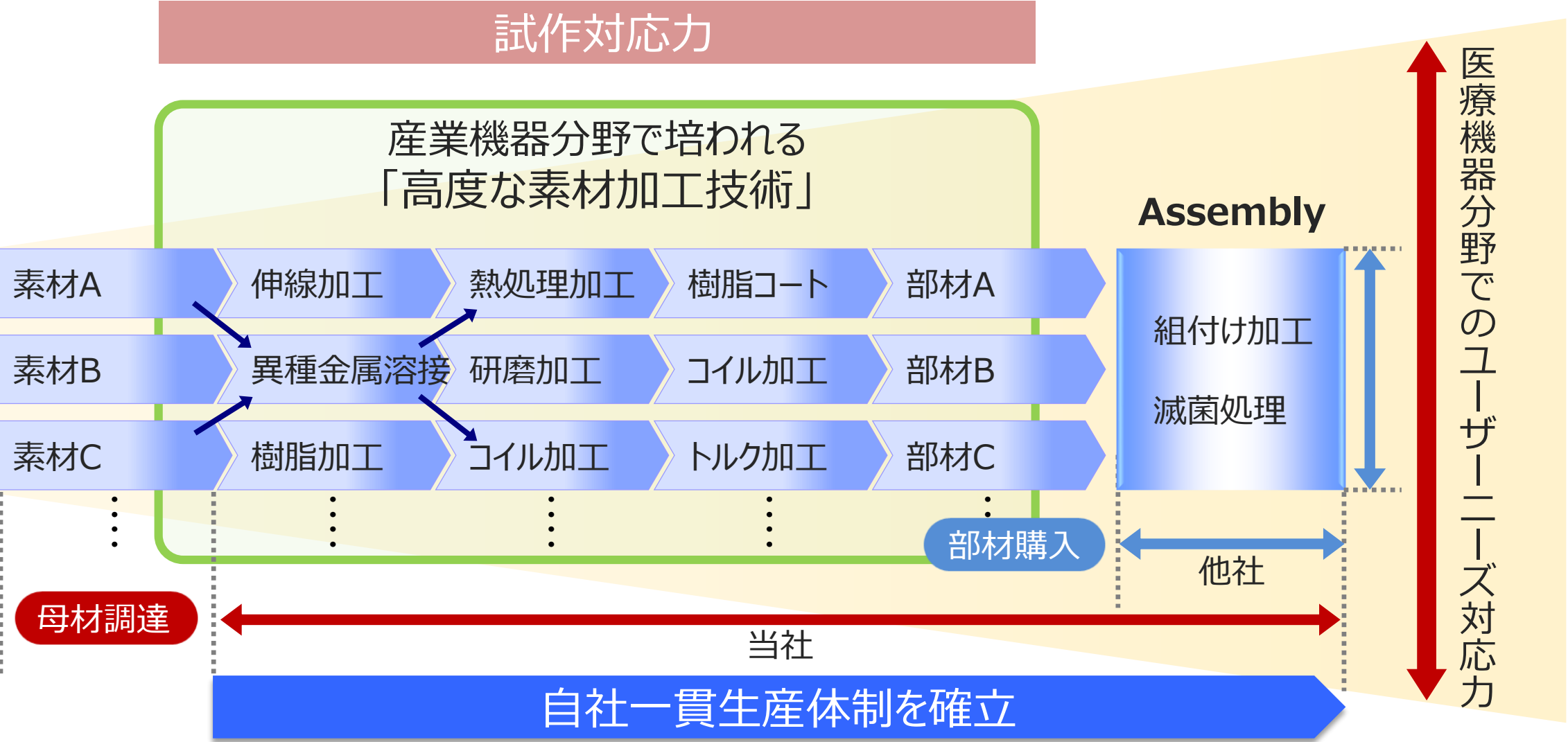
ガイドワイヤーを輸入に頼っていた時代、日本のKOLドクターから CTOを治療できるワイヤーの開発を大手海外メーカーに打診したが実現しなかった

※KOL(Key Opinion Leader)・・・医療業界で多方面に影響を持つ医師のことを指します

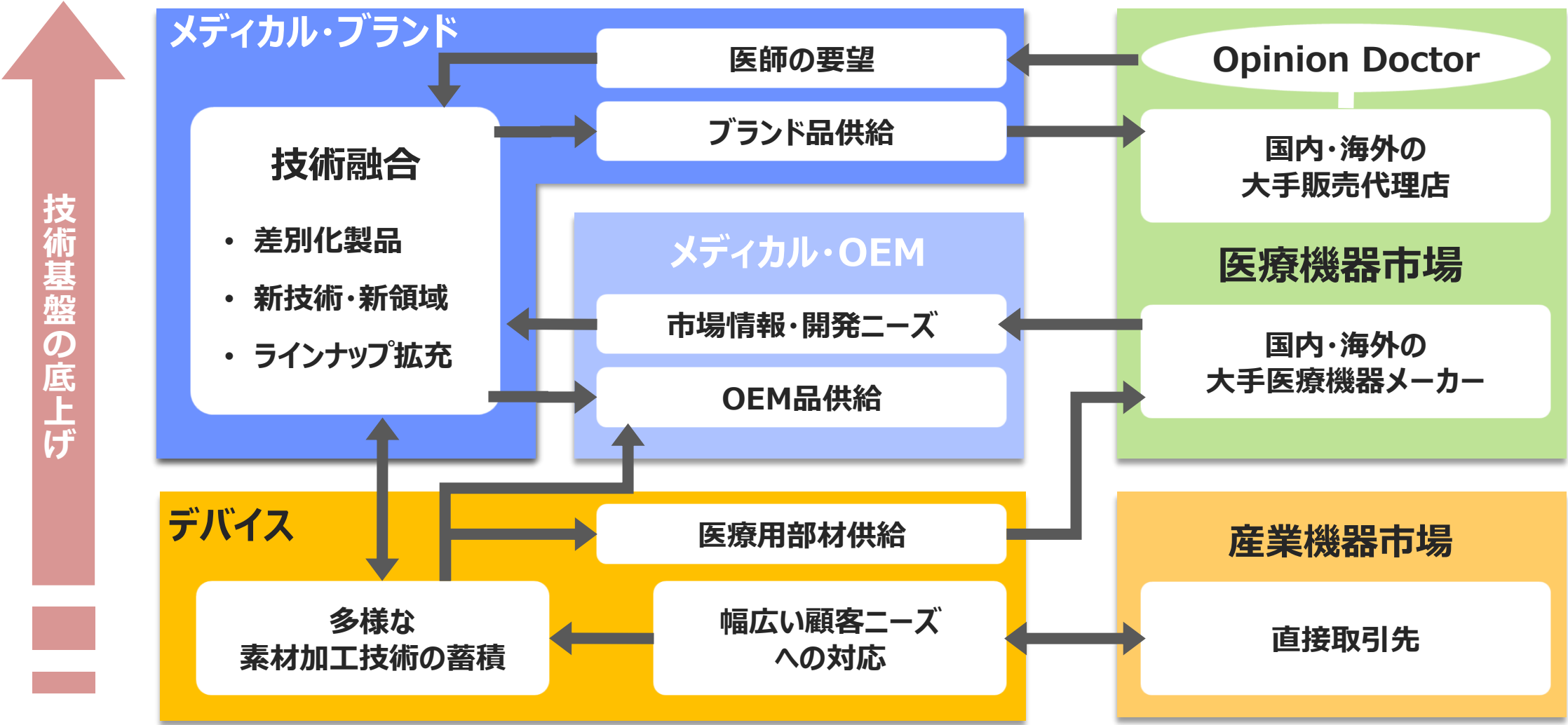
CTOを治療できるPCIガイドワイヤーを開発（1995年）

低侵襲治療によるCTO治療を飛躍的に拡大

当社の強み  
医療機器の競争力 = 素材を扱う高度な技術



当社の強み  
事業構造のメリット（融合・複合・循環）



# 本資料における注記事項

本資料に記載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略などは現在入手可能な情報に基づき判断したものであり、リスクや不確実性を含んでおります。

実際の業績は、様々な重要な要素により、大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

【本資料及び当社IRに関するお問合せ先】

朝日インテック株式会社 経営戦略室

TEL 0561-56-1851 (Direct)

URL <https://www.asahi-intecc.co.jp>